

第6回 小諸市立小中学校統合準備委員会 会議録

開催日時 令和8年8月26日（水） 19:00 ～ 20:30

開催場所 小諸市役所 第1・2会議室

出席委員	塚本 修弥	花岡 桐子	前島ひとみ	高橋 博之
	白鳥 沙織	笹沢 真一	平尾 利枝	富山 貴子
	金井 直樹	宮坂 哲子	高柳 司	小林 孝治
	依田 勝彦	堤 末男	花岡 隆	山浦 義直
	前田 淳夫	栗林 正直	福島 全子	櫻井 浩多
	依田 隆司	倉島 綾子	掛川 敏彦	小山 等

以上24名

（欠席：望月 早矢香）

事務局	教 育 長	山下千鶴子
	教 育 次 長	春原 信行
	学校教育課長	山浦 修
	主幹指導主事	相原 修
	教育総務係長	笹川 望
	学校教育係長	佐々木 佐知子
	学校再編係長	前田 裕美
	学校再編係 事務主任	古川 明裕

1 開 会

〈進行：学校再編係長〉

➤ 開会に先立ち、事務局より以下2点を周知

- ① 委員の過半数の出席を認めたことから、本日の委員会は成立とする。
- ② 本委員会は原則公開のため、市民等の傍聴を認めていることをご了承願いたい。

2 教育長あいさつ

本日、芦原中学校区義務教育学校校舎等整備工事の安全祈願祭・起工式が無事執り行われた。いよいよ8月31日から仮設校舎での2学期が始まることとなるが、子どもたちが豊かな学びを享受できるよう、教育委員会としても支えていきたいと考えている。

また、7月25日には対話と協働の学びサミットが開催され、児童生徒の皆さんから、1学期で印象に残った授業についての発表があった。子どもたちから、それぞれの感覚による回答を聞くことができ、私達が先生方とともに作り上げた小中一貫教育ビジョン、学びの世界が子どもたちにも評価してもらえていると感じられた。

学校再編に関しては本当に難題ばかりだが、委員の皆さんも新しい学校に、あるいは新しい学校の子どもたちの学びに様々な夢を描き、どのようにしたら実現できるかということを考えてくださっていると思う。

開校という着地点に向かい、本日も様々な協議をどうぞよろしくお願いしたい。

3 自己紹介（各校PTA副会長のみ）

〈副PTA会長による自己紹介〉

4 連絡・共有事項

〈説明：こども家庭支援課こども政策係長〉

➤ 芦原新校における放課後の子どもの居場所づくりについて

・資料に基づき、放課後の子どもの居場所づくりについて説明

- ①地域交流センターを活用した児童クラブの運営
- ②校舎の一部（学びの街角等）を活用した子どもの居場所づくり

・今年度は、適正な料金設定と利用可能な時間の設定について検討を進めていく。

5 議 事

（1）報告事項（進捗状況・今後の取組み等について）

① 総務部会

➤ 部会長より進捗状況、今後の取組みについて報告

・校名については、「芦原」という名称を使用していく方向で委員会でも承認されてきたが、義務教育学校とするのか、小中学校とするのかあるいは学園とするのか、この点については意見が分かれていた。最終的には、小中学校という表記が親しみやすく、

幅広い世代に受け入れられやすいと判断し、新校の校名を「芦原小中学校（仮称）」とすることが定例教育委員会で承認された。今後は、来年度に予定している条例改正まで一般への周知期間とし、（仮称）を併記の上校名を使用していくこととする。

- ・校章デザイン案については、新校の完成前に卒業してしまう中学２年生・３年生の皆さんにもぜひ新校づくりに参画してほしいという想いを込め、芦原中学校区の児童生徒を応募対象とし、募集を行っていく方針である。

② ＰＴＡ・地域部会

➤ 部会長より進捗状況、今後の取組みについて報告

- ・芦原中学校区の４小中学校に係るＰＴＡ規約の整理を実施。規約内容に差異が生じている項目について一致を図れるよう検討を進めていく。整理にあたっては、芦原中学校の規約を基にし、規定のないものについては他校の例を参考にしながら一つにまとめていくこととしたい。

③ 教育部会

➤ 部会長より進捗状況、今後の取組みについて報告

- ・新校の根幹、フレームに当たる部分（グランドデザイン・学びの形態・授業時間等）については、教育部会内のワーキンググループで検討を進め、原案を作成する。これらの重要事項については、校長委員会を経て、統合準備委員会に諮ることとしたい考えである。

（２）協議事項

① 通学部会

➤ 部会長より説明（通学路案・スクールバス運行案）

【通学路案】

- ・県道八幡小諸線（中棚荘周辺）、諏訪白樺湖小諸線（大久保から新町まで）は多くの支部から意見があった。
- ・県道八幡小諸線については、今年度の通学路点検で、建設課と教育委員会事務局から県に対し、グリーンベルト・注意看板設置等の安全対策を要望した。
- ・諏訪白樺湖小諸線は県で歩道整備の計画があり、まずは急坂の手前まで歩道を整備し、坂道の部分は一旦グリーンベルト等の安全対策を講じる予定である。最終的には坂道の部分についても歩道が設置される予定。

【スクールバス運行案】

- ① 自宅から新校までの通学距離が３ｋｍ以上の児童（小学生）を乗車対象とする
- ② バス事業者が現在保有するバス３台（大型、中型、小型）で運行する
- ③ 全６ルートを想定し、走行距離や道幅、乗車予定人数等を考慮した上でルートの組み合わせを決定する（１台のバスで２ルートをピストン運行）
- ④ バス停留所は、主に既存の停留所や公民館を中心に設置を検討する
- ⑤ 通学時間は概ね１時間以内となるよう配慮する

《以降、3班に分かれ、バスルート案についてグループ討議（意見交換）を実施》

➤ **グループ討議（意見交換）結果**

- ・ 1班…①バス停留所に関しては、交通量の多い箇所も多いことから、新規に設置するのではなく既存の停留所を利用することが妥当ではないか。
②小学生は放課後の児童クラブ利用に伴い、中学生の兄弟との帰宅も想定されることから、夕方のバスは適切な時間帯で1便に絞ってもよいのではないか。
- ・ 2班…①菱野・後平・滝原までを周回するルートも検討してはどうか。
②東雲地区には公営住宅があり、児童生徒の人数も多いことから、坂の上小学校付近へのバス停留所設置を検討してほしい。
③学区の境界にあたる地域に関しては、学区をまたいだバス停留所の利用も認めてほしい。また、中学生もバス利用できるよう要望したい。
④バス運行に関しては、大型の乗用車を併用することも検討してほしい。
- ・ 3班…①大久保方面の危険箇所（急坂）は、安全確保が困難であることから、バス利用について十分配慮してほしい。また、千曲小学校は児童数の減少により単独での登下校が多くなっているため、安全対策が図られるまでの間は、バス利用を認めてもらいたい。
②円滑なバス運行のため、主に小学校低学年の子ども向けのトイレ設置の検討も必要ではないか。

⇒各班の意見を踏まえ、通学部会にて引き続き協議・検討を進めていくこととする。

(3) その他

〈説明：主幹指導主事〉

➤ **7月25日 対話と協働の学びサミット開催報告（広報こもろ9月号特集記事を配布）**

・このサミットは、学びの主人公である子どもたちの声を聴くということを目的に企画した。当日は、子どもらしく率直に、それぞれが思っていることを語ってくれた。あとは、この子どもの語りを我々がどう引き継いでいくかということになると思う。

2学期には各校でも学習検討会等が計画されているが、今後も進捗について皆さんにお知らせするとともに、様々なご意見等をいただき、開校に向けて子どもたちの学びの質を高めていきたいと考えている。

6 その他

(1) 第7回小諸市立小中学校統合準備委員会の開催について

日 時：11/25（水） 19：00～20：30

場 所：市役所3階 第1・2会議室

7 閉 会

以上